

たんばらラベンダーパークの目の前に位置し、フランス・パリのシャンゼリゼ通りと並ぶ通りの名が付いたペンション「サントノーレ」。

オーナーが描いた人物や風景、果物などの油絵が、館内の至る所に飾られ、個展にきているかのような大人な雰囲気を感じられる一方、子ども向けのプレイルームを完備するなど、夏休みに家族で訪れる旅行者も多いといえます。

たんばらスキー場が完成した翌年の平成元年12月にオー



1. ロフトは秘密基地のように遊ぶ子どもに人気 2. 閑散期のプレイルームは英典さんのアトリエに 3. 体を伸ばしてゆったりと温泉気分を味わえる

## 家庭的なおもてなし 家族で訪れて

ブン。英典さんは東京都で、百合香さんは岩手県の出身。これまで旅行会社やペンシ



ペンション サントノーレ  
ひでのり 英典さん・ゆりか 百合香さん

ンに勤めるなど、観光のおもてなしが好きな夫妻は、自分たちのセンスを生かした経営をしたいと思い、また、目の前がスキー場で雪が深く、宿泊客に左右されにくいことから玉原に移住を決めました。

周辺のペンションの中では最も規模が大きく、走り回れるスペースやロフトを備えた客室があり、子ども連れの家族も楽しめます。2年前に家族風呂2つをリフォームし、24時間循環で温泉気分を味わえます。料理も好評で、スキーマの宿泊客にスタミナをつけてもらおうと、牛肉のステーキを中心としたボリュームのあるフルコースは、通年提供しています。

新型コロナウイルスで客足が減り、キャンセルが相次ぐなど、

どこも経営は厳しいといいますが、国の持続化給付金や宿泊支援のキャンペーンを使いながら、安心して訪れてもらえるよう対策を講じるほか、市の電子地域通貨Tangoも導入。

英典さんは「市内の皆さんも気軽に遊びに来てもらえれば」と宿泊を呼び掛けます。

ペンションは家庭的で宿泊者と距離が近いことが特長。「話がはずみ朝になったことも。勤めていたときのお客さんが今でも遊びに来てくれるのが嬉しくて」と話し、「オーナーは個人的な人が多いです。だからこそ、距離を縮めて宿泊者に合わせたサービスなど、楽しんでもらおうと全力でもてなしができる」と笑顔を見せます。



## ヨーロッパを思わせる 玉原高原のペンション

ペンションビレッジには、ヨーロッパの田舎町を思わせる雰囲気の建物が並びます。宿泊料金 1,000円引きなど、お得なキャンペーンを実施している施設もあります

